リスク対策.com
危機管理とBCPの専門メディア

リスク対策.COM 連載

企業向け危機管理訓練シナリオ

小学校の音楽室から出火 × 正解を待てば煙が回る × あなたの会社は、確証がなくても動けますか

～避難はできた。その先の一手は、誰のものでしたか～

今回の背景ニュース

2026 年 6 月 19 日午前 11 時前、東京・北区滝野川の北区立滝野川第三小学校で、4 階の音楽室・音楽準備室から火が出た。当時、音楽室では 5 年生 24 人が授業中だった。教諭が煙に気づいて児童を避難させたが、火元が廊下側の避難経路に及んだため、最終的に窓から庇へ移って救助を待ち、24 人全員が避難した。この火災で児童・教師あわせて 11 人が負傷し、その多くは煙を吸って搬送されたと報じられている。火災報知機は作動したが、スプリンクラーは設置されていなかった。出火原因は調査中。

＊決めておいた逃げ道が、最初の一歩でふさがれたとき。あなたの会社では誰が、何分で、別の道を選べますか？

セルフチェック：あなたの会社の現状は？

□正規の避難経路が断たれる事態を想定した訓練を、実際に行ったことがある
□その場に居合わせた人が、避難方法をその場で変えてよいと決めてある
□「指示を待たず、煙の薄い方へ動いてよい」と、避難する側にも伝えてある
□ふだん使っていない設備・機器・部屋の出火リスクを、点検の対象に入れている
□自社の消火・警報・排煙設備の現状を、担当者が把握している

❶今回のシナリオ：正規の逃げ道が、最初の一歩で消える

決めておいた避難経路が、火元そのものに塞がれる――その時、何を優先し、どう動くか。あなたの会社のフロアを舞台に、考えてみてください。

【状況設定】

- 時点：平日の昼前、執務中
- 立場：その場に居合わせた、あなた
- 状況：テナントビルの自社フロア。社員が在席している

【状況付与：最初の数分間】

時点	何が起きたのか
0 分	平日の昼前。フロアの一角、ふだん人のいない資料室の方向から、焦げ臭いにおいがする
+1 分	においが強くなる。資料室の扉を開けると、煙が見える。火元はこの部屋らしい
+2 分	火災報知機が鳴る。訓練で決めた避難経路は、この資料室前の廊下を通って非常階段へ向かうルートだった。だが、その廊下が火元に塞がれている
+3 分	正規の避難経路は使えない。別の出口はあるが、訓練では使ったことがない。煙は天井をつたって広がり始めている

このとき、確実に安全だと言い切れる逃げ道は、どこにもありません。正解を確かめてから動こうとすれば、その間に煙は回ります。

❷実践訓練：あなたが、導く側だったら

質問 1

火災報知機が鳴り、決めていた避難経路は火元に塞がれています。別の出口はありますが、訓練で使ったことはありません。煙は広がり始めています。あなたが、その場で最初に気づき、周りを動かす側になったとして、ここでどう動き、どう人を導きますか。

＜下記より該当するものを選んでください。また、理由も考えてみてください＞

- □ 防災マニュアルを確認し、想定された別ルートがないか調べてから動く
- □ 上長または本部に連絡し、指示を仰いでから避難経路を決める
- □ その場の判断で、使えそうな別の出口へ社員を誘導する
- □ 煙の広がりと出口の状況を自分の目で確かめ、最も煙の薄いルートを選んで即誘導する
- □ 全員をその場に留め、消防の到着と救助を待つ
- □ その他：

記述欄（理由・気づいたこと）

❸実践訓練：あなたが、逃げる側だったら

質問 2

今度は、あなたが導かれる側です。フロアに煙が流れ込み、誰かが避難を呼びかけていますが、声は届きにくく、どちらへ向かうのかはっきりしません。煙は、あなたの側にも迫ってきました。あなたは、ここでどう動きますか？

＜下記より該当するものを選んでください。また、理由も考えてみてください＞

- □ 誰かが誘導してくれるはずだから、指示が聞こえるまでその場で待つ
- □ とりあえず、周りの人が動く方向に合わせてついていく
- □ 煙の薄い方向を自分で見極めて、安全側の出口へ動き出す
- □ デスクの PC や貴重品をまとめてから、避難する
- □ 「そっちは煙だ」と気づいたら、声に出して周りに知らせながら動く
- □ その他：

記述欄（理由・気づいたこと）

＜ヒント＞

逃げる側にも、同じ罠が潜んでいます。「誰かが正しく誘導してくれる」のを待つ時間もまた、煙に出遅れる原因になるからです。一方で、全員が確証のないまま、てんでばらばらに動けば、かえって列を乱すリスクも生まれます。指示を待つリスクと、ばらばらに動くリスク。この矛盾を、本番のその場で解決できるでしょうか。

❹実践訓練：その両方を、平時が支えているか

導く側の機転も、逃げる側の自衛も、その場の幸運に任せてはいけません。あなたの会社で同じ場面が来たとき、両方を支える備えが平時にできているか。次のうち、自社に「ある」と言えるものを選んでください。

＜下記より該当するものを選んでください。また、理由も考えてみてください＞

□ 正規の避難経路が使えない場合の代替経路を、訓練で実際に通ったことがある

□ その場の人が避難方法をその場で変えてよいと、権限・判断の自由が明文化されている

□ 「指示を待たず、煙の薄い方へ動いてよい」と、避難する側にも伝えてある

□ ふだん使っていない設備・機器・部屋の出火リスクを、点検の対象に含めている

□ 自社の建物の消火・警報・排煙設備の現状を、担当者が把握している

□ いずれも、はっきりとは言えない

□ その他：

記述欄（理由・気づいたこと）

＜ヒント＞

現場の機転も、個人の自衛も、いわば窮地の「最後の砦」です。もし、その砦に頼らざるを得ない場面そのものを、平時の備えで一つでも減らせていたとしたらどうでしょうか。現場に命がけのファインプレーをさせないこと。それこそが、平時の訓練と準備の本当の目的です。

【点検表】自社の判断の仕組みは整っていますか

現状点検項目	できている	要対応
正規の避難経路が断たれる事態を想定した訓練を、実施している	□	□
現場の責任者が避難方法をその場で変えてよいと、権限が文書で定められている	□	□
ふだん使っていない設備・機器・部屋の出火リスクが、点検の対象に含まれている	□	□
自社の消火・警報・排煙設備の現状を、担当者が把握し記録している	□	□

明日からできる３つのこと

① 「正規経路が使えない」前提の避難を、次の訓練に一度入れる。

② 現場が「その場で経路を変えていい」ことを、一文で決めておく。

③ ふだん使っていない設備を、一つ点検する

❺自社での実践可能性を検証

現状点検チェック

- [x] 正規経路が断たれる想定の訓練を計画できる
- [x] 現場に「その場で経路を変えてよい」権限を明文化できる
- [x] 避難する側に「指示を待たず、煙の薄い方へ動いてよい」と周知できる
- [x] ふだん使っていない設備の出火リスクを点検対象に加えられる
- [x] 消火・警報・排煙設備の現状を把握・記録できる

明日から開始する改善アクション

1. 正規経路が断たれる想定の訓練：

_____

2. 現場への権限委譲（一文）：

_____

3. 避難する側への周知：

_____

経営層への提案事項

火災・避難の備えとして実施すべき対策を 1　つ挙げてください：

提案内容：_____

投資規模：_____

効果・ROI：_____

リスク対策.com
危機管理とBCPの専門メディア

作成：八重澤晴信、企画：リスク対策.com

著作権表記：「© 2026 八重澤晴信・リスク対策.com　無断転載・複製を禁じます」

【付録】AI 訓練（プロンプト）

ご自身で繰り返し鍛えられる訓練を用意しました。下のスクリプトを、CHATGPT・CLAUDE・GEMINI のいずれかに貼り付けてください。貼った瞬間に最初の場面が始まり、あとは A・B・C を選ぶだけ。同じ訓練を、何度でも繰り返せます。

```
————————————————————————————————————————
# 役割
あなたは、企業の防災判断力を鍛える「火災初動シミュレーター」です。このスクリプトを受け取ったら、前置きや設定の質問をせず、ただちに最初の場面と 3 つの選択肢を提示してください。

# 開始方法（いきなり本題に入る）
1. 下の【ケース一覧】から 1 つを選び（ランダムでよい）、最初の場面「①気づき」を、時刻・場所・五感を交えて具体的に描写する。
2. 続けて、取るべき行動を 3 つの選択肢（A・B・C）で示す。3 択には必ず次を混ぜる。
  ・確証がなくても安全側に動く「正解」（10 点）
  ・一見正しいが、確認や指示待ちに傾いて出遅れる「惜しい」（5 点）
  ・状況を悪化させる「危険」（0 点）
3. ユーザーが A・B・C で答えるのを待つ。

# 進行ルール
1. 回答後、次の構成で判定を返す。
  【判定】正解／惜しい／危険
  【なぜそうなるか】結果と理由。「惜しい」なら、確認や指示待ちに傾いて失う時間を必ず指摘。
  【選ばなかった 2 択の落とし穴】残りを選ぶと何が起きるか。
2. 場面を火災の時間軸で進める。①気づき ②通報・初動 ③避難経路の選択 ④誘導・待避 ⑤点呼・確認。
  ※③避難経路の選択では、必ず「最初に決めていた避難経路が、火元や煙で使えなくなっている」状況を入れる。
3. 5 場面まで進めたら、最終評価へ。

# 採点の考え方（重要）
・測るのは知識の正しさだけではありません。「正解が確定しない場面で、確証がなくても安全側に行動を起こせるか」を測ります。
・「もっと情報を集めてから」「上長の指示を待ってから」という選択は、一見正しくても、火災では出遅れにつながるため減点対象としてください。
・確認そのものは否定しません。ただし、その確認が「避難のための確認」か、「事実検証が目的化した確認」かを解説で区別してください。後者は落とし穴です。

# 最終評価（5 場面終了後）
点数を集計し、次のフォーマットで返す（満点 50 点）。脅さず、次の行動につながる言葉で締めてください。
  ■ 総合スコア：〇〇点 / 50 点満点
  ■ 判断スタイル：S（確証がなくても安全側に動けている）／A（基本は身についている。あと一歩、踏み出しの速さを）／B（確認に頼りがち。目的のための確認に絞る練習を）／C（基本から再確認を。まず一つずつ）
  ■ あなたの強み（正解した場面から、活きた判断を具体的に）
  ■ つまずいた落とし穴と次の一手（間違い・惜しい場面から、陥った罠と次の対策を具体的に）
  ■ オフィス防災への持ち帰り（自社の備えにどう活かすかを一言）

# ケース一覧（1 つ選んで即開始）
・ケース 1【給湯室】給湯室付近から出火。まだ周囲は気づいていない。
・ケース 2【夜間ワンオペ】残業中、自部署の機器付近から火花と煙。フロアには自分しかいない。
・ケース 3【会議中・外部者同席】重要な商談の最中、ビル全体の火災報知器が鳴る。来客をどう導くか。
・ケース 4【サーバー室】電気系統のトラブルでサーバー室から黒煙。スプリンクラーは作動していない。

# 連続して鍛えるために
1 回きりで終わらせず、ぜひ何度も試してみてください。「もう一度」と入力すれば、別のケースで新しい場面が始まります。
確証がなくても安全側に動く感覚を、ゲーム感覚で繰り返し体験し、判断のスピードを磨いていただければ幸いです。
————————————————————————————————————————
```

リスク対策.com
危機管理とBCPの専門メディア

作成：八重澤晴信、企画：リスク対策.com

著作権表記：「© 2026 八重澤晴信・リスク対策.com 無断転載・複製を禁じます」